

親子で伝統工芸にふれる

わだい②

12月20日、中央公民館で親子を対象に、しめ飾りづくり講座が行われました。これは、わら細工愛好会のみなさんの指導のもと、伝統文化の継承を目的として開催したものです。

しめ飾りは、正月に年神様を迎える場所としてふさわしいことを示すために始まったとされています。参加者は、わらを編み、しめ縄づくりから飾り付けまでを一貫して製作。みなさん、オリジナルのしめ飾りを熱心に作っていました。



書き初めで1年の抱負を

わだい③

1月8日、舟形小学校で書き初めが行われました。書き初めは、年が明けてから初めて毛筆で字や絵を書くことを指すもので、日本の伝統行事の一つとなっています。

今年は、マスクを着用して「夢と希望」や「新春の光」など学年ごとの目標や課題を、一文字一文字筆先に全神経を集中させ書き上げていました。みなさん姿勢も良く、堂々とした伸びやかな字で、気持ちが込められた書き初めとなりました。

無事故・無火災を祈願

わだい④

1月10日、舟形町消防団安全祈願祭が行われました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響から感染拡大を防止するため、出初め式中止とし、安全祈願祭のみ、規模を縮小して行いました。この日は、森町長、加藤嘉久団長（堀内）、渡部広行副団長（幅）、庄司洋一副団長（太折）の4名が出席し、無事故・無火災を祈願しました。

今年度から就任した加藤団長は、「昨年はコロナ禍で消防に関する行事がほとんど中止となったが、火災が野火の1件にとどまったことは日頃の防火広報キャラバンの成果である。また、7月の豪雨の際も排水作業により被害を最小限に抑えることができた。今後も火災を出さず、災害にも対応していきたい。」と話されました。

今年も舟形町消防団は町の安全・安心な暮らしを守るため活動していきます。



副団長 渡部広行さん 団長 加藤嘉久さん 副団長 庄司洋一さん



「豪雪対策本部」を設置

わだい①

1月4日、町内の積雪深が150cm（西又で200cm）に達し、今後も断続的に降雪が予想されることから、町民の安全を確保するため「舟形町豪雪対策本部」を設置しました。最上管内では除雪作業中や落雪での事故が発生しています。落雪による事故、除雪作業中の事故、ビニールハウス等の倒壊、水道管の凍結などに注意するとともに、作業を行う場合は十分な安全対策を行ってください。また、高齢者などの一人暮らし世帯などで、除雪や日常生活などに困っている方は、民生委員や町に相談してください。

さらに町では、町道、生活道路の除雪を、車や人の往来が少ない早朝を基本とし、必要に応じて日中午後から行なっています。除雪車の出動が多くなると、それに比例し、堆雪場所の雪も多くなります。また、路面が凍結し踏み固められると除雪作業に時間がかかる場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

1月8日に配布した『「舟形町豪雪対策本部」を設置しました』には、除雪中の事故防止のポイントや農業施設の雪害防止のほか、町指定の排雪場所などをお知らせしていますのでご確認ください。

▼問い合わせ／

総合窓口……………舟形町住民税務課危機管理室

☎（32）0155

道路除雪関係…舟形町地域整備課建設整備係

☎（32）0915

農業施設関係…舟形町農業振興課農政企画係

☎（32）0947

高齢者等関係…舟形町健康福祉課福祉係

☎（32）0655

屋根の雪下ろし作業について…

もがみ南部商工会舟形支部 ☎（32）2242

1/7

舟形若あゆ温泉
七草がゆを振舞う



▶無病息災を願って食べられる七草がゆを、来場者の方に振舞いました。

12/23

ふれあい育児の広場
クリスマス会



▶親子連れ10組が集まり、一緒にサンタや雪だるまの飾りを作りました。

12/14

もがみ南部商工会舟形支部
地域活性化に向けて



▶八楸雅章支部長が、町に地域活性化に向けた要望書を提出しました。

まちのわだい

舟形町ではホームページを開設しています。中でも「Oh! New News」は新鮮な情報が満載。
▼舟形町HP <http://www.town.funagata.yamagata.jp/>